

Only One

No.3

成岩中学校生徒指導部

長い時間をかけて準備を進めているひまわり祭も、すぐ近くまで迫ってきました。さて、今回のたよりは、ひまわり祭についての注意事項や防寒着などを含む服装・身だしなみについてまとめました。内容を確認した上で自ら考えて判断し、行動しましょう。

ひまわり祭を成功させよう

ひまわり祭は、企画・運営に携わっている実行委員会の人たちの準備や努力だけでは、成功に導くことができません。また、“楽しさ”をみんなで味わうには至りません。参加する全校生徒が、それぞれ自分にできること、得意を集結させて、協力することが重要です。あわせて以下の4点についても確認しておきましょう。

・仲間の気持ちを大切に

協力はすべきだが、強制はすべきではない。仲間を大切に思うからこそその関わりと行動をしよう！はじめから諦めるより、チャレンジする勇気をもって取り組もう！

・校内の活動時間以外の練習

保護者の了承を確実に得た上で、地域、施設の方に迷惑とならないよう活動時には十分配慮しましょう！基本は校内での活動時間で行える範囲におさめよう！

・終了後の集まり（打ち上げ等）

クラスの多くのメンバーが集まって開かれる会によって過去にもさまざまなトラブルや誰かが嫌な気持ちになる事例がありました。心配されること、配慮しなければならない点がたくさんあります。仲間の頑張りをねぎらう気持ちは校内で完結させましょう！

・他中学校の生徒を呼ばない、他中学校の学校祭へ行かない

ひまわり祭は、校内における授業の一環であり、みなさんの活動の様子を保護者に見てもらおう機会です。目的を理解して行動しましょう！

ひまわり祭後（10月28日）から制服登校

6月からひまわり祭まではワンポイントTシャツ・ハーフパンツ登校が認められているため、現在の様子を見ると多くの生徒がワンポイントTシャツ・ハーフパンツでの登校を選択しています。ひまわり祭を終えて次の週からは、制服での登校となります。校則で示されているルールを確認の上、学生服・セーラー服・ブレザーそれぞれ、ふさわしい姿で不備なく過ごせるように、見通しをもって生活を送りましょう。

防寒着・防寒具の着用について

※現在のルールに合わせて示しています。今後変更される場合もあります。

○ウインドブレーカー

- ・学校指定のもの、または部活動指定のものを着用する。

○コート

- ・Pコートまたはダッフルコートでフードのついていないもの。
- ・色は黒・紺・グレーのいずれかで、無地のもの。
- ・着用するのは、登下校中のみとする。

※着脱は教室で行う。必ず記名をする。保管は各自ロッカーで行う。

○セーター・カーディガン

- ・気候に応じて着用してよい。
- ・華美でないもの。
- ・他者からの印象を考慮して適切な着方をすること。
- ・式では着用をしない。

○タイツ・レギンス

- ・黒、肌色の無地のもの。
- ・式での着用をしてもよい。

○マフラー・ネックウォーマー

- ・華美でないもの。

※使用は登下校中のみ。必ず記名をする。

○手袋

- ・華美でないもの。

ルールへの理解を深め、責任ある選択ができるようになるろう

昨年度に生活委員会主導で行った校則改正によって、ルールとして示されていた具体的な例、内容が一部削除されました。この改正には、他者からの印象や場に応じた選択が自らできる成中生でありたいという思いが込められています。

では、上記の防寒着・防寒具の校則にもある“華美でないもの”とはどのようなものでしょうか？色、飾り、柄などが他者に与える印象、高価なものなどトラブルのリスク、制服（中学生にとっての正装）に適するかなど、きっと視点はさまざまです。クラスの仲間、先生、保護者と話をしてみるとよいでしょう。周りの人の考えを知ることは、他者から自分がどのように見えているかを確認することにもつながります。

繰り返しになりますが、他者からの印象や場に応じた判断ができるようになるために、それぞれ個人に判断が委ねられています。“何でもOK”といった認識でいるとしたら改正の意図の理解が不足しているでしょう。身だしなみは、他者からの印象に大きな影響があるということは各自で自覚をすべきでしょう。

また、校則に示してあることにとどまらず、学校生活のあらゆる場面においてマナーを意識して生活できるとよいでしょう。先生たちから生徒のみなさんを見て、気になる姿や様子があれば、声をかけたり、話をしたりして責任ある行動の選択ができるように支えていきます。